

第2回碧南市まなびさぽーと資金支給審査会 会議録

日時

平成28年10月12日（水）午後1時25分～午後2時20分

場所

碧南市役所5階 教育委員会室

出席者及び欠席者

- (1) 出席者 会長 坪井基紀、副会長 金子てる子、委員 梶川真由美、委員 滝井裕美、委員 角谷竹虎、委員 川隅義孝
- (2) 欠席者 0人
- (3) 事務局職員 教育長 高松透、教育部長 鈴木重幸、庶務課長 三島翁、日進小学校教頭 長谷川和美、庶務課係長 鈴木好美、庶務課技師 鈴木康寛、庶務課主事 岩田晃宏

傍聴者 0人

会議内容

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 議題
 - (1) 平成28年度まなびさぽーと中学生の認定について
 - (2) 平成28年度まなびさぽーと中学生の表彰式について
- 5 その他
- 6 閉会

議事の要旨

- 1 開会
開会を宣言。
- 2 教育長あいさつ
(教育長のあいさつ。)
- 3 会長あいさつ
(会長のあいさつ。)

4 議題

(1) 平成28年度まなびさぼーと中学生の認定について

事務局から資料1により募集要領の説明。

選考委員長から選考方法、選考理由及び応募状況等の報告。

<意見・質疑>

会 長：短時間ではありますが、一通り作品を見て頂いたので委員のみなさん、ご意見ご質問等ありますでしょうか。

委 員：はい。先輩の作品を後輩が引き継いで、さらに、研究することは良いことなのですね。新たなテーマにしなければ駄目かなと思いましたが可能なのですね。

事務局：はい。可能です。

先輩が解明できなかった部分もあります。それを次の年で別の切り口や詳しい方法はないだろうかと、探りながら追究を深めていくことは、良いことだと思います。

事務局：これらの優秀作品は、各学校の理科室に掲示しており、見ることができます。さらに加えて、他の学校の先輩がやってきたものも見ることができ、興味がわいた次の子供達が少しでも深めていくことが可能ならばと、置いております。

委 員：なかなかテーマを見つけることは大変ですから、参考になることは良いことだと思います。

委 員：元々あったものに、プラスして発展できるようであれば良いことだと思います。

委 員：今回の取り組みに関しての意見ではありませんが、この制度は定着してきています。賞金や賞の部分で最優秀賞が1位20,000円、優秀賞が2位10,000円、準優秀賞が3位5,000円とありますが、例えばの話、最優秀賞を決めて、それに続く4つの作品を優秀賞とし、準優秀賞をなくしても良いのかなと思います。生徒の実力も向上しており、順位付けが難しいのでこのようにしても良いのかと思いました。

会 長：今、区分の部分でご意見をいただきましたが、事務局はこのご意見に対してなにかありますか。

事務局：最初は1位50,000円、2位30,000円、3位10,000円のみでした。そこから裾を広げようと努力賞・きらり賞が増え、金額も変わってきています。そこからは今の区分で継続しています。

会 長：今の区分なら、良いのではないかという意見でよろしかったでしょうか。

事務局：そうです。今の区分がちょうど良いのかなと思います。

会 長：変更するならば、条例や規則の変更が必要ありますが、区分に対して意見が強いようでしたら、検討するという事によろしいでしょうか。今回に関しては、今の区分で進めさせていただきます。では他の委員の方、他のご意見等ございますか。

委 員：理科の授業を通して、自然を見つめる目だとか、色んなことを不思議に思う心だとか、日頃の感覚でテーマを選んでいる。夏休み前に理科の授業で考えて良いものについてはみんなで話し合う場面があり、全然気付かなかった生徒も気付くきっかけとなる。これらがまなびさぼりと事業の横側にあるので、良い事業をやっているなと思います。さらに、選ばれれば励みになります。調べ方、結論を定義付けていくやり方などは中学校の授業ではあまり学ばない。自分の問題を深い場面までどんな風に調べたら良いかと勉強するきっかけとなるので是非続けて頂きたい。また、作品はHP上にもアップされているので、生徒が見ることができます。

会 長：ありがとうございます。

委 員：ご審議されました各優秀賞に対して本当によくできた作品だと思います。それとは別に、入賞作品はA、Bがほとんど、Cの調べ学習は全体でも作品数は多いので入賞していったら良いなと思いました。Cは、疑問に思ったことに仮説を立てていくのではなく、迷路のような調べ方になりやすいのかなと思いました。

事務局：生徒には事前調査とか、自分はこうであろうなど仮説をたてるように指導しています。やっていくうちに徐々に逸れていくこともあり、なかなか仮説が仮説として立てられていない状態で始めてしまうこともあります。ですが、素晴らしい努力が見られます。

委 員：調べ学習に関して、やっぱり理科の授業ですと観察や実験が主になるので、感覚としては一度低い位置からスタートなので、純粹に調べ学習だけですと良い評価が付き難いですね。

事務局：調べ学習ですと、どうしてもインターネットや文献を丸写しになりやすくノミネートしにくいようです。昨年の「まむし指」の作品は解析し、そこから派生して別のものを調べたりというような大変面白い研究だったのでこういった面があ

ればノミネートも増えると思います。

委員：こうやって選んで頂いて、選考委員の方々に感謝をしたいなと思います。簡単に選べるものではなく、すごい量の作品の中から絞り込んでいくのに相当な時間と話し合いの中で決められています。作品を出した生徒もすごいですが、協力して頂いた先生にも感謝をしたいなと思いました。

会長：ありがとうございました。委員の皆様から意見を頂きまして、この原案を否定する意見は無かったように思います。私自身も審査委員の目に狂いはなかった用に思います。これによりまなびさぼーと中学生認定者を決定したいと思います。

委員全員：＜異議なし＞

審議の結果、承認された。

(2) 平成28年度まなびさぼーと中学生の表彰式について

事務局から資料2により説明。

＜意見・質疑なし＞

審議の結果、承認された。

8 その他

委員：市の広報に表彰結果等を載せるのでしょうか。

事務局：載らないです。広報もひとつの周知の方法として、一度検討させていただきます。

9 閉会

閉会を宣言。